

I 概要

【内政】

- 10日 政府とFARCとの和平交渉再開
- 10～17日 2014年和平交渉最終ラウンド
- 20日 FARCによる一方的停戦

【外交】

- 3～6日 ジョンストン・カナダ総督の当国訪問
- 3～6日 ミュラー・ドイツ経済協力開発相の当国訪問
- 4日 オルギン外相のUNASUR外相会合及び首脳会合出席（於：エクアドル）
- 5日 サントス大統領のUNASUR新本部開所式への出席（於：エクアドル）
- 6日 当国パレスチナ代表部の外交団への格上げ
- 7～9日 オルギン外相のイベロアメリカ・サミット外相会合等出席（於：メキシコ）
- 9日 サントス大統領のイベロアメリカ・サミット出席（於：メキシコ）
- 10日 サントス大統領のCOP20出席（於：ペルー）
- 12日 ケリー米国国務長官の当国訪問
- 15日 エクアドルとの合同閣議
- 17日 サントス大統領とバイデン米国副大統領との電話会談

II 本文

【内政】

1 FARCとの和平交渉再開

3日、コロンビア政府とFARCは共同声明を発出し、10日から和平交渉を再開する旨発表した。

2 2014年の和平交渉最終ラウンド

10～17日の間、2014年最終となるFARCとの和平交渉第31ラウンドが実施された。16日には、犠牲者の最終グループより意見聴取が行われた。同ラウンドにおいては、紛争の縮小につき協議された。デ・ラ・カジェ政府側和平交渉団長は、和平交渉が最終段階に入っている旨述べた。

3 FARCによる一方的停戦

17日、FARCは、20日より、国軍または国家警察からの攻撃がない限りは無期限

に一方的な停戦を実施するとの声明を発出した。また、同声明においてFARCは、UNASUR及びCELAC等の国際機関による停戦の検証を希望する旨述べた。

これに対して政府は、双方向の停戦は交渉課題「紛争の終結」において協議されるべきである、また、政府は国民の権利を保証・保護する憲法上の義務がある旨述べた。

20日、FARCの一方的停戦を受けて大統領府はプレスリリースを発出し、FARCによる一方的停戦が、（政府とFARCの）双方による最終的な停戦となることを期待する旨述べた。

【外交】

1 ジョンストン・カナダ総督の当国訪問

3～6日、ディヴィッド・ジョンストン・カナダ総督が当国を訪問し、3日、サントス大統領及びオルギン外相と会談した。同会談においては、イノベーション、教育、投資等が協議されたほか、カナダによる和平交渉への支持表明がされた。

2 ミュラー・ドイツ経済協力開発相の当国訪問

3～6日、ゲルト・ミュラー・ドイツ経済協力開発相が当国を訪問し、5日、ロンドーニョ外務大臣臨時代理（筆頭外務次官）と会談し、科学技術及びイノベーション分野での両国の協力の推進につき協議した。

3 オルギン外相のUNASUR外相会合及び首脳会合出席（於：エクアドル）

4日、オルギン外相はエクアドルで開催されたUNASUR外相会合及び首脳会合（サントス大統領の代理として）に出席した。

5日、サントス大統領及びオルギン外相は、同国においてUNASUR新本部の開所式に出席した。同開所式において、コレア・エクアドル大統領は、サントス大統領が進めているFARCとの和平交渉への努力を讃えた。

4 当国パレスチナ代表部の外交団への格上げ

6日、当国パレスチナ代表部が、一時的性格しか持たない特別ミッションから外交団のカテゴリーに格上げされ、記念式典にはリヤード・マーリキー・パレスチナ自治政府外務庁長官が出席した。なお、本件格上げはコロンビアによるパレスチナの国家承認を意味する訳ではない。マーリキー長官は、コロンビアは南米で唯一パレスチナを国家承認していない国である旨述べた。

5 サントス大統領及びオルギン外相のイベロアメリカ・サミット出席（於：メキシコ）

7～9日、オルギン外相はメキシコを訪問し、8日、第24回イベロアメリカ・サミット外相会合に参加した。また同日、グティエレス・ペルー外相と会談した。

9日、サントス大統領及びオルギン外相は、第24回イベロアメリカ・サミットに出席した。本件サミット終了後から次回2016年にコロンビアで開催されるサミットまでの間、コロンビアが持ち回り事務局となった。

6 サントス大統領のCOP20出席（於：ペルー）

10日、サントス大統領及びオルギン外相は、国連気候変動枠組条約第20回締約国会議（COP20）に参加するため、ペルーを訪問した。サントス大統領は、コロンビアは緑の機構基金（GCF）に6百万ドルを拠出する予定である旨述べた。

7 ケリー米国国務長官の当国訪問

12日、ケリー米国国務長官が当国を訪問し、サントス大統領、オルギン外相及びデ・ラ・カジェ和平交渉団長と会談し、米国はコロンビアが紛争を終結するため支援する用意がある旨述べた。

8 エクアドルとの合同閣議

15日、サントス大統領はオルギン外相及びその他の閣僚とともにエクアドルを訪問し、コレア・エクアドル大統領及びパティーニョ・エクアドル外相等とともに第三回合同閣議を開催した。同閣議後、両国は、違法採掘対策、移民基本法の制定、5カ年医療計画等を中心とする国境地帯総合計画の実施につき合意した。

9 サントス大統領とバイデン米国副大統領との電話会談

17日、バイデン米国副大統領は、サントス大統領と電話会談し、米国とキューバの関係正常化を目指す決定につき通報した。

（了）